

# 雇用に不安を感じたら 早目に組合へ

# かいな

全日本金属情報機器  
労働組合 (JMU)  
日本アイビーエム支部  
東京都港区赤坂 2丁目 200 6  
川瀬ビル 5F 〒107-0052  
TEL.: 03-3583-9037  
FAX.: 03-5562-0853

定価 月 500円

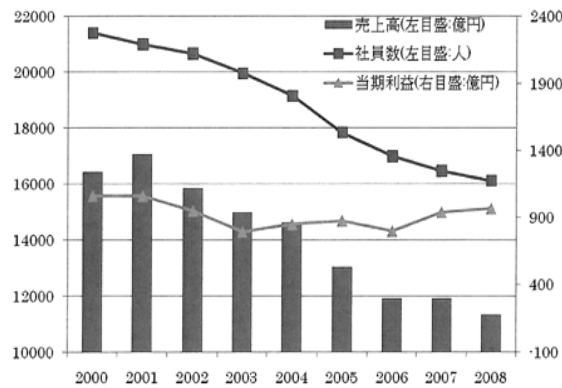
## 組合の重点要求

減給・降格を可能とする  
制度を撤回せよ  
退職強要を直ちにやめよ  
「業績改善プログラム」  
を直ちにやめよ

日本の法律では雇用を最優先する立場から、整理解雇の4要件が満たされなければなりません。勤めることを超えて無理矢理退職に追い込むなどといったことはあつてはならないことです。このような退職強要は現実には多数組合に相談が来ています。組合は団体交渉において退職強要をやめるよう、会社に要求しています。

労働条件の一方的な不利変更はできない一方、今年3月の就業規則改訂によってライン専門職の権限が強化され、部下の降格や減給ができるようになりました。しかし、格付けやそれに伴う給与といったのは重要な労働条件です。労働基準法の観点からは安易な労働条件の不利変更はできません。これについても組合は団体交渉にて労働条件の不利変更をするには社会的に認められる合理的な理由が必要だとして追及しています。組合ではここに一定のルールを作るよう要求していきます。業績改善プログラムをやめよ

すなわち、「改善目標管理フォーム」を使った降格や減給の被害も多数組合に相談が来ています。組合ではこのプログラムは社員の業績を本当に上げるためのものではなく、降格や減給のエビデンス作りのためのツールであるとみなしています。組合は団体交渉にてこのプログラムをやめるよう再三にわたって会社に要求しています。今こそ立ち上がるべきです。皆さんの加入をお待ちしています。



## 労働組合に加入して 不利益変更を跳ね返そう

左下のグラフは、2000年以降の社員数、単独売上高、当期利益の推移を示したものです。売上高のピークは2001年であるのに対し、社員数は1年前の2000年から減少しています。データから読めることは、社員が先に減らされ、それを追う形で売上高が減っていることです。会社はPBC評価の悪い人を選択して退職を勧める方法で社員の削減をしています。PBC評価はライ

その後の労働組合は次々と画期的な労働条件を勝ち取って行きました。60パーセントもの大幅上げや年間8カ月のボーナスを勝ち取りました。この年間8カ月のボーナスは2001年まで続きま

# リストラに貢献の ライン管理者を表彰？ 目を疑ったノーツの依頼

憲法フェスティバル

2010 第24回

いま、足もとから考える 育てよう平和のこころ 伝えよう憲法のこころ

ピアニスト 崔善愛 & チェリスト 三宅進  
13:40~14:25 (予定)

劇団 秋田南雀 土方与志 記念 青年劇場  
16:30~17:15 (予定)

ジャーナリスト 堀末果  
14:30~16:00 (予定)

今年のテーマは  
**私の憲法**

5月22日(土) 開演 午後1時00分 開演 午後1時30分 終演 午後5時15分(予定)

日本教育会館 一ツ橋ホール  
03(3230)2833  
地下鉄 神保町駅 都営新宿線・半蔵門線 (A1出口) 都営三田線 (A8出口)

主催 ● 憲法フェスティバル実行委員会  
Tel・Fax 03(3261)4566  
<http://www.kenfes.com/>  
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2  
ステーションビル1706号室 南北法律事務所宛付  
憲法フェスティバル実行委員会  
※お問い合わせは実行委員会どうぞ

リンドン氏より、管理部門のみならずというノーツが送付されてきました。IBMer's パリユーを推進し、働きやすい環境、ハイパフォーマンススカルチャーを実現しているライン管理者の貢献を表彰したいという内容でした。あなたにとって素敵なライン管理者と

はどんな人ですか。ライン管理者への日頃の感謝をこめ、是非推薦してください。このノーツに違和感を感じた人は多かったのではないのでしょうか。特に管理部門では多くの社員

がリストラで苦しめられています。リストラに貢献したラインを選べど、もいつのでしょうか。この時期に人気投票でもお

の時期に人気投票でもおりのリストラができて、経費があまったのでしょうか。選ばれたライン管

理者には記念品が出るようですが、はっきり言って経費の無駄遣いです。各期毎に300名ずつのリストラが予定されていると聞きます。その度にライン管理者を表彰するのでしょうか。

## ハツマ

立夏もすぎ初夏を迎えています。庭の藤の木も光を浴びて、新緑が透き通るように輝いています。この時期、京都先斗町歌舞練場では、毎年鴨川をとりで舞妓さんが藤娘を踊ります。一見平和な日本ですが、沖繩では基地の取り扱いで、大騒動がおこっています。だれもが望むはずの平和について、1つの言葉が日本列島をさ迷っています。「抑止力」、この言葉は、人類最大懸案の核兵器の存続についても使われてきました。「核抑止力」これさえあれば全て許されるかの様に、しかし、これはちよつと考えれば間違つた考え方と分かります。他の対立する国も同じように「抑止力」を採用すれば、それは正当化され、核・軍事的の優位性を競って、果てしの無い競争になるからです。風が吹いて藤の葉が揺れ、そう思いま